今週の話題

失明の隣人に捧げる眞心

大平社宅の田中成子さん

宮太郎さん（三川坑機械）の次女成子ちゃん（荒尾第一小学校五年生）である。

話は一昨年の暮から始まるが同じ大平社宅に大久保チヅ子さん（四十八才）という人がいてこの人は産後の日立が悪く二十年前から失明しにわかめくらとして不自由な生活を長女栄さん、長男照友さんの支えで生活をして来ていたが照友さんが三川坑を失職して長女の栄さんも出稼ぎに出かけることゝなり、チヅ子さんの生活は全くまつくらになった。これを見兼ねた成子ちゃんのお母さんが建設から三川坑に奉仕して来たのである。只の話として聞けばそれ迄であるが来た年端もゆかぬ一少女が長い月日になして来たその行為は尊いものであつて他の少年少女の模範に足るものと大平分会では十五日の午後五時から表彰式を行つた。

記者は十六日探訪に出かけたが当日は学校で合唱の練習があつて出校していたので学校に尋ねた。一見小柄な可愛い嬢ちゃんでかしこそうな顔であつた、こんな小さい少女がとつくづく感心させられたが、責任を感じてやつている様です。子供が好いことをしていることは矢張り親として嬉しいです。

成子ちゃんを手助けに出したわけである。

親からも或は隣人からも強制されるでなく学校が終れば かけつけて雨の日も風の日も一年近く買出し、炊事、掃除、洗濯を引いて風呂迄つれて行き本当の子供でさえ出来ぬことを遊びざかりの成子ちゃんが責任を感じてこの盲目の婦人の世話をしてゆく事を知らぬという事では何時までたつても幸福や自由になる事は出来ないでしょう。こんな事をいつたら分り切つた事だとお叱りを受けるでしょうが敢て私は反対致しません。人間誰しも惨めな暗い生活を望まない事は之は本能的に根強い心理ですから。唯私は仔犬の行倒れの悲惨な状態が、私達の子供や、妻や、否私自身がそれになる様なことがあつたらと、取越苦労をする余りこんな分り切つた子供が考える様な事をいつてみたくなつたのです。これも私の気弱い性格のためかも知りません。もしそれだと良いのですが——

嘉穂炭鉱の職組の脱落などということを聞くと、少からず行倒れが一歩近づいたという不吉な動揺を感ぜずにはおれません。どうか願はくば同じ闘争に参加した仲間の中から行倒れの死人が出ない様に、祈る気持ちです。

身近なことを

—仔犬の行倒れによせて—

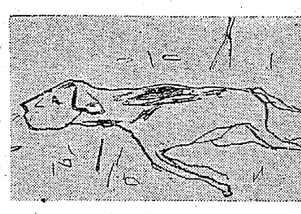
三川支部　兼吉沙郎

誰でも縁起でも無い話はしたくないものです。それがスト期間中の事であればある程験気を出してその縁起でも無い話をする必要があると考えます。話といつても仔犬が行倒れで死んでいたという事なんですが、といつたら多くの人は誰でも何だつまらぬ仔犬の行倒れでなくても、人間様の行倒れもあるよ、縁起何ぞといつて気にかける様な話ではないじやないか、気の弱い奴だとお叱りを受けるかも知れません。私としましてはどちらかというと奴隷られた方が話がし易いのです。

何故だといひますと、仔犬が行倒れで死んだり、或は人間がそんなになる事を何とも思わぬ冷血な、しかも生命を軽視する態度をとる人は、人道上とても許せぬと、そり身になつて聞き直る事が出来るからなのです。

だが恐らく、誰でも直接に仔犬が行倒れで死んでるのを見たら、眼をそむけるか、可愛想だと心の中でつぶやく事でしよう。それではどうして私達はそんなみじめな状態を見ると眼をそむけたり、同情のつぶやきをするのでしようか。いうまでもなくそれは私達のどこかで無意識の中に、もしもそれが自分自身の事だつたらという反省が働くからではないでしようか。真面目に誠心から、然も正しく生きてゆく事を素直な気持で希う人なら誰でも、行倒れの死が人間のそれでなくて仔犬であろうとも、悲しみとものゝ哀れを感じるものであるといえます。

さて、行倒れなんて縁起でもない話を、私達にとつて最も身近かな問題である処の現在置上げのストに関連させてみるとき、私達は少からず真剣な気持で考えざるを得ない様に思ひます。私達は自らの生活の安定と地位の向上を得る事によつて、民主日本の建設の為に努力しようという自覚と決意で持つて、全力を賭けて、悲壮な表現でいうならば、生死を賭して置上無期ストを闘つているのであります。



是が非でも絶対一番、勝利の女神が私達に微笑を与える様に努力せねばならぬと思ひます。欲するのみで為す事を知らぬという事では何時までたつても幸福や自由になる事は出来ないでしよう。こんな事をいつたら分り切つた事だとお叱りを受けるでしようが敢て私は反対致しません。人間誰しも惨めな暗い生活を望まない事は之は本能的に根強い心理ですから。唯私は仔犬の行倒れの悲惨な状態が、私達の子供や、妻や、否私自身がそれになる様なことがあつたらと、取越苦労をする余りこんな分り切つた子供が考える様な事をいつてみたくなつたのです。これも私の気弱い性格のためかも知りません。もしそれだと良いのですが——

嘉穂炭鉱の職組の脱落などということを聞くと、少からず行倒れが一歩近づいたという不吉な動揺を感ぜずにはおれません。どうか願はくば同じ闘争に参加した仲間の中から行倒れの死人が出ない様に、祈る気持ちです。

指令十二号は徹底

常盤妥結は全く豫知しなかつた

宮川中闘の中央情勢報告

オルグとして歸山した宮川中闘は十八日午後一時から鉱組本部でひらかれた中央闘争執行委員会に臨み常盤妥結、中労委の動きその他につき大要次のように報告した。

常盤妥結の經緯と中闘の態度

七日艀産業と東部運盟は団交を持つて決戦段階に入つたというより統一闘争の激化と解し、見透しのヤマを早く見越して十四日朝団交に入り同夜の電話では棚作据置き、額は九五%を九七%に、職員給与については調解点に達した旨連絡があり、更に翌十五日朝現行賃金の横滑り配ち上り賃金として平均千円支給ということで妥結、代表を上京させる旨報告があつた。代表と中闘の間に「妥結権は中央にあることを承知か?」「知つてはいるが調解点に達したということはあり得る」「何故妥結する前に報告しなかつたか?」「夢中になつていたので気がつかなかつた」「協定は破棄出来るか?」「機関にはからなければ何ともいえない」

以上のような問答が交され、全く問題にならないので十五日中闘は十五日午後三時半中山会長に呼ばれ正副闘争委員長、中闘二名が中労委に行つた。席上中山会長は誰からも頼まれた訳ではないがストが永引いているので事情を聴取したい。その上で直ちに斡旋調停に入るとは考えていないが、このまゝの状態であと一週間以上も遷延するようであれば旨を答え会見廿分で終つた。

中労委の動き

社会的影響もあり伺等か会長として動かざるを得ない。炭労としては解決に努力する意志があるかとうかと聞かれたのに対し組合側運盟が切り下げ案を固執して決裂している現在こちらから交渉に入る意志はない

そのあと運盟も呼ばれ同様質問に対し

第三者の介入を望まず、あくまでも自主的に解決したい旨答えたと聞いている。

記者團に對する早川聲明

中山会長と金見後運盟の早川事務

理事は記者団に対し

一、第三者の介入を排し自主的解決をはかる

二、今度の闘争は食うか食われるかだから先にガタ〳〵動き出した方が負けで、既に炭労側では常盤の妥結などという事態も起つて居り我に勝算がある。

三、炭労は指令十二号を発したが切羽は完全に維持されて居り、中村生産部長の話だと十四日までに団交を派遣したが九州方面を当つたが狀態に比し正確な数字はまだ出ていないが九州では大体三〇%程度減となつて居り指令は徹底して居る旨九労会議で聞いた。

港務所の輸送問題　諒解点に達す　夜を徹して團交

指令十二号に基き鉱組では十二日会社に対し組合としての考え方を口頭で申入れたに対し会社は翌十三日書類をもつて回答、同日戦術委員会をひらいて検討の上会社側と具体的数字については夫々諒解点に達したが、港務所関係については双方の意見対立、当初組合側としては

一、専用線による輸送及び船舶からの荷揚げ作業は組合員の手によつて行わない

二、輸送の為に会社諸施設を組合以外の手によつて使用する場合は実力をもつて阻止する

との強硬態度を以て臨んでいたが、十四日会社側からこれについての団交申入れがなされ、同日深更山ノ上クラブで交渉に入つた。

すれば沿線工場或いは関連産業のマヒ乃至破壊は免れず、会社としても重大な決意を固め、自と強調、関連産業の実情を縷々説明、阿具根組合長からその旨を伝えた。

水町　結構だと思います。諒解致します。

倉山　組合の誠意と努力に対し有難く感謝を表します。この線で工場の保安が充分保たれるかどうか多少懸念はしているが、組合としての立場もあることなので早速事業所長と相談して何とか保安に努力して貰うように致します。

以上で午前七時廿五分徹夜の団体交渉を終つた。

阿具根組合長　ストが長期化すれば当然このような事態が起るだろう事を全然考えなかつたのか?組合が炭を運ぶ以外に破壊を防止する方法が無いか?根本的には早期解決をはかりストをやめる事が破壊から守る最善の途だと考えられるがどうか?

水町労働課長　ストが長期化しても設備を破壊しないギリ〳〵の保安要員は確保して貰えるものと確信していた。輸送の仕事というものは関係事業所を相手にした仕事で、私達の争議の相手ではない。だから港務所の保安要員の確保という事は関係事業所の生産施設の保護という考え方である。

菊川書記長　日本全国の炭鉱労働者が長期ストを打つ場合三池と同じ事態が全国に起る筈だ。会社側の主張通りなら石炭を原料とする全工場が破壊する事になる。この点はどうか?

倉田次長　全国の工場がマヒするような事態に持つて行くのは行き過ぎだと思う。要はストを早く解決つけることだ。

こゝで別室協議に入り（午前一時半）組合側として最終的に戦術効果の面をも考慮の上慎重なる態度を協議した結果

一、関連産業生殺与奪の権限は組合がこれを握つているとの認識に立つてしかも関連産業の施設破壊をもたらすが如きことはその労働者にとつても死活問題である

二、一般の世論が悪化するおそれ負担金の結果左の通り

三、一日闘にわたつて慎重検討した。役員にコンクリートの柱だけが目立つ、北岸壁から荷揚げした粉炭をこゝまで貨車で送り、こゝよりトラック運搬がなされるわけで貨車の上で働いているのはこれまた宮浦の組合員諸君で「私達あアルバイトできつかはつてん頑張るの」で西方遠も頑張つて下はれ」と華極元気である。送先の宮浦のピットの故障でトラックを待つていた

港務所粉炭機

粉炭の吸出により堤炭を粉炭機にかけて三池関係の三池炭の維持につとめて来たが十七日現在でこれも全部使用停となつた。

宮浦ピット

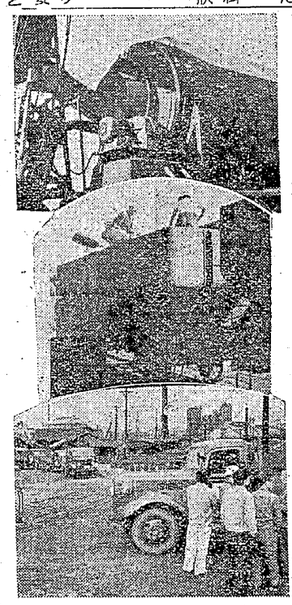
平常宮浦坑より直通のベルトコンベヤーが使用出来なくなつたのでエレベーター式で石炭を三菱のコンベヤーへ移すのであるが老朽していたのでこの故障が続出して最底の保安の確保が出来ぬと関係筋はいつて居る。こゝへは貯炭場、駅より運搬される石炭がトラック八〜九綴でなされている。

港務所北岸壁

船で送つて来た石炭を如何にする

港務所貯炭トンネル

石炭のない貯炭場は気の抜けたよ



上＝港務クラツシヤー　中＝大牟田駅石炭積込　下＝宮浦ピット

三市對抗陸競で三鑛選手活躍

十六日福岡市平和臺で挙行された三市対抗陸上競技大会で大牟田市代表のわが三鉱選手は次のような目覚ましい活躍ぶりを示し、フィールドで優勝、トラックで二位という好績を収めた。

△一〇〇米　二着新宅直（本所）一一秒三

△二〇〇米　四着河野徳一（本所）

△四〇〇米　二着河野徳一五三秒四、四着今村功

△走高跳　一位深川秀郎（港務）一、七五米、二位林孝良（宮浦）一、七〇米

△定巾跳　四位新宅直六、七一米

△砲丸投　一位沢田和彦（本所）一〇、六二米

△円板投　二位沢田和彦三〇、五九米

血の惨むような金を闘争資金にと據出

三川支部三浦さん達の美擧

ストの突入以来丁度廿日目の去る十かりの津留副支部長のもとに「これはスト突入以来生活資金を稼ぐ為友人達と共に行商をやつて得た永い苦しいストにもかゝわらず金ですが、今度のストを勝ち抜く為闘争資金の一部にして下さい」と血の出るような金三千五百五十円を差出した。この力強い行為に心から感激した津留副支部長は有難く一応は受け取つたものゝ、三浦さん達の労苦とその家族の生活を考えた場合到底情に於て忍び得ないものがあると、「気持だけを頂き、一円札や十円札で一杯にふくらんだ御金の袋はそのまゝ御返しすることゝした」これについて津留副支部長は感激と感謝の気持を次のように語つた。

新年文藝特集　原稿募集

△創作

題財自由、四百字詰原稿用紙十枚程度、二、三回に連載予定▲賞金一等一篇千五百円、二等同千円、三等同七百円、他に佳作若干篇に賞品贈呈（選者未定）

△感想文

内容＝「講和後の労働運動」四百字詰三枚程度▲賞金一等一篇七百円、二等同五百円、三等同三百円、佳作若干に賞品を贈る▲選者＝編集部

△學童綴方

「朝」八百字以内、応募資格は組合員の子弟にして中、小学生、原稿末尾に父兄名、学校、学年別、本人の氏名明記の事▲賞品入選三篇並に佳作数篇に夫々賞品を差上げます（編集部選）

△短詩文藝

一、詩＝自由取材　二、短歌「日」（選者若本崇二郎）三、俳句「春雨」「冬至」（選者泉則花）四、川柳「アルバイト」（選者池田有明）▲賞金＝天三百円地二百円、八百円佳作若干篇に賞品

◎その他漫画、替え唄、嘘くらべ等何でも結構です。掲載分には賞品を呈します。

△締切＝十二月十日までに必着の事

△宛先＝支部教宣部宛由又は組合本部「みいけ編集部」宛

風にもめげず

意氣益々旺んな原地域分会

原地域分会は発足以来一致団結の実は親睦融和を図る事が大切であるというので、他地域分会にも見られない分会員一人当十円積立案を決定、各種行事を織込んで年間行事とし逐次実施して来たが、下期に入つての行事をスト中であるので如何にすべきかを総会の席上で検討されたが運動会のみを中止するという事で他は全部実施する破壊をもたらすが如きことはなることになり、室外競技は時期的に今が一番よいというので八日より三日間にわたつて盛日賑つた。役員諸君の結果左の通り

分会長　森尾常正　三作　再
副〃　高木茂雄　宮浦　新
副〃　管野竹夫　本所　〃

◆少年野球　11月8日

Bクラス
新社宅　100112 0　20
旧〃　200112 2　75

Aクラス
新社宅　131101 1　168
旧〃　202331 5 0

本塁打＝石橋（新）2　田川（旧）1　三小田（旧）1　二塁打＝三小田（旧）1　二塁打＝石橋（新）1　塚本（新）1

◆ソフトボール　11月9日

農繁期に入りアルバイトの関係で各班共メンバー編成に苦労をし遂に二班は棄権をした。四班はこれをよく克服し男子三人のみで他は女子供を動員して最後まで敢闘した。

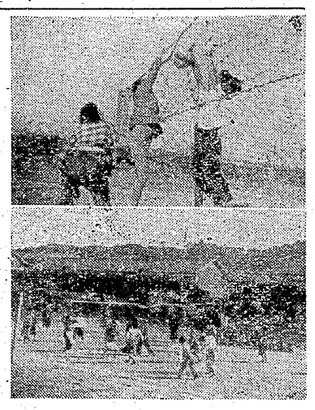
△一回戦
1班13−17 6班　4班2班不戦勝
△二回戦
4班2−11 7班　6班1−17 8班
△優勝戦
7班3−21 8班
△三位決定
4班7−11 6班

◆バレーボール　11月10日

試合開始十二時四十分
新旧社宅対抗というので応援団は前日のソフトボール大会よりものすごく、近所で刈入中の農家の人もびつくりする程だつた。

最初挙重（五、六年、中学）女子で小粒揃ひの新社宅劣勢を伝えられたがよく闘い、三セットまで追込み遂に2対1で勝者となつた。次いで婦人の部を行つた。新社宅は三個班より選抜で構成メンバーに困つた上、八班の試合巧者の人達が事故のため出場出来ず厳実上、七班より二個班で編成、旧社宅の五個班と対戦したゝめ遂に二対0で敗れ去つた。

最後に一般男子を行つた。こゝにもアルバイト組の欠場で新社宅にやゝ歩が悪いと思われたが予想通り善戦の結果敗れ去つた。然し美技続出でルールの判らない人でも手に汗を握るような試合だつた。



熱戦のバレー大會

映画

最高の猛獣映画

「禿鷹は飛ばず」

英皇帝は毎年一度、十一月にその年に製作された英国に関係の深い映画をでらんになるコマンド・パーフォーマンスを催されるが、これに選ばれるのは非常な栄誉である。今まで「天国の階段」「ハムレット」「南極のスコット」及びアメリカ映画「マドラーク」等がこの栄に浴したが昨五一年度は「オウアランダース」「南極のスコット」「冠弾」「大荒原」等近頃メキメキ頭角を現わしたスチュアート・グレンジャー・タイプの新人で、最近はコンベール等と共演映画を撮つており、ダイナ・シェリダン戦前から二十本を越える映画に出演したが舞台に進出して成功した人。その他「ベンドラ」のハロルド・ウオレンダー、メレディス・エドワーズ、黒人の名優オーランド・マーティンス等。

主演のアンソニイ・スチールは妖艶美の飛ばさる所を獲得するまでの物語であるが、テクニカラー・モノベツクのフイルムに収められた動物の生態は正に圧巻である。

監督のハリー・ワットは「オウアランダース」の名匠。実話に基いてワットがストーリイを書き、W・P・リプスコム、ラルフ、スマート、レスリー・ノーマンの三人の脚色。

上＝人生劇場
下＝禿鷹は飛ばず

東映「人生劇場」

尾崎士郎の原作を八木保太郎、棚田吾郎が共同脚色し、佐分利信が監督した東映東京作品、芸術祭参加作品として大川社長が製作総指揮に当つている。出演者は佐分利信、主役ひよう吉に新人舟橋元が抜てきされている外、北林谷栄、高峰三枝子、鳥崎雪子、笠智衆、月形龍之介、片岡千恵蔵などが出演している。かつての内田吐夢監督の人生劇場にくらべ佐分利のそれは重厚味において決して劣るものではないが、何分膨大な原作を一時間半に収めざるを得ない関係上、原稿末尾に父兄名、学校、学年別、本人の氏名明記の事▲賞品入選三篇並に佳作数篇に夫々賞品を差上げます（編集部選）

△短詩文藝

一、詩＝自取材　二、短歌「日」（選者若本崇二郎）三、俳句「春雨」「冬至」（選者泉則花）四、川柳「アルバイト」（選者池田有明）▲賞金＝天三百円地二百円、八百円佳作若干篇に賞品

◎その他漫画、替え唄、嘘くらべ等何でも結構です。掲載分には賞品を呈します。

△締切＝十二月十日までに必着の事

△宛先＝支部教宣部宛由又は組合本部「みいけ編集部」宛

味やッぱりラジオ

三等執行員

運盟の戦術委員会続いて団体交渉とその対力を誇る三役陣もいさかつかれ気味の処、中央闘争委員会で菊川書記長四時間余にわたる質問に空気がぬけて（気胸療養をしている）くたくたである。折返しての質問に書記長曰く「いうなれば何ということかナ」と発言、悪言居士これを聞いてオヤオヤ

三等執行員か。

似顔

本部で似顔談議があつた。たまたま帰山した宮川中闘をとらえていうことは丸く書いて頭部にトウモロコシの毛程度をのせて大きく鼻ブチの眼鏡をかけて口を近く書いてチヨビヒゲを書けばこれかくれもなき今をときめく三池炭鉱労働組合の副組合長宮川隆男氏でアールソーナ

よくよく聞けば

大平社宅巡回中の編集部長を捉えて「どうですかチヤガ芋はわけてやりまつしゆうか」大平地域分会の腰々よりはれて目をパチ〳〵

「こらあカマかつですか」「うんにや紅芋ですたい」どうも話のつじつまがあわない。よくよく聞けば大平地域分会で生活対策として組合員の親戚から原価で購入斡旋してもらつて販売しているのである。馬鈴薯の名はいともやさしいメイクインである。なお取扱つた量は一四〇貫タイシタものである。